

# 田中園芸

## バラを広めたい

No.51

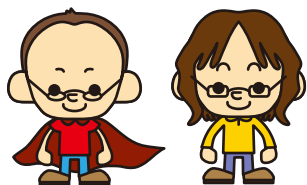
小矢部の地を踏んで間もない新人坂上が今、いろんな方との関わり合いを持つ中で少しずつ「小矢部」を学んでいます。小矢部ブランドにも認定されているバラ、その生産量は、富山県ナンバードワン。私がそれを知ったのは、田中園芸さんを取材させていただいたのがきっかけでした。こちらを訪問してまず最初に迎えてくれたの

は…入り口のすぐ横にいた『アンパンマン。』言わずと知れた正義の味方が、田中園芸さんのバラを悪いものから守り続けているのでしょうか。とても印象的でした。中にいるご家族の方に話を伺いました。「バラは花の女王であり、バラが一番好きですね。」と誇らしげに語られた。「バラを水耕栽培で作っているんですが、雑草も生えるので手間はかかりますよ。工夫している点としては、花持ちが一番良い水で作っていることですね。」



苦勞しながらも愛情込めて育てておられる姿が感じられました。魅力溢れるバラですが、中国産の品質向上と低

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



価格に伴い、地方では中々売れにくくなっているのが現状のようです。



「年々バラの生産を減らさないとならなくなっています。今はその分お米の生産を増やしているんですよ。」と、厳しい現実の生産者の声を聞きました。「そんな中でいろいろアイデアを絞り頑張っています。」冬場は暖房費がかかる富山県はバラの栽培には適していない環境のようです。それでもご家族で協力しながら、大切に大切に育てている様子が伺えました。この様に丹精込めて作ったバラ、沢山の方に認めてもらいたいものですね。



取材中：「ふつ」と私の目にとまったのがバラの模様入りのひざ掛けです。



「切り花商品になるのは真っ直ぐに育っているバラ。曲がって育った2級品のバラは商品にならないので、バラ染めに使っています。」  
「花を鍋で煮詰めて色を出し『スカーフ』『膝掛け』『ハンカチ』をバラで染めているんですよ。バラ風呂用にも使っています。」  
小矢部の道の駅ではバラの足湯が有名です。足湯用のバラの花びらを商品化して、販売もしています。



メルヘン工房  
**田中園芸**  
〒932-0844  
富山県小矢部市北-327-2  
TEL 0766-69-8924  
FAX 0766-69-8964



「市で作ってくれた『還暦に贈るバラ』のポスターも効果がなくて…。」と、とても厳しい現状も話してくださいました。それでもしっかりと10年先の事を見据え、真剣に家族で話し合い、現状を何とか打破しようという熱い思いが伝わりました。メルヘン小矢部に相応しい、花の女王であるバラ。小矢部に溢れる程いっぱいになる日が来ると思います。

プレゼント



小矢部産のやさしく優雅なバラ湯のひとつとき。  
**バラ湯セット 3名様**

募集期間：平成23年1月17日（月）まで  
PC・携帯からのご応募：http://www.startaro.com/shop/  
OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
Oyabe Local SNS：http://www.sns.startaro.com/

「小矢部の学校では卒業式にバラを贈る！」  
そんな習慣があったらいいね。

店長の一言